

平成20年9月吉日

関係大学学長 殿
関係研究機関所長 殿

公益信託
小澤・吉川記念エレクトロニクス研究助成基金
受託者 三菱UFJ信託銀行株式会社



平成20年度助成金申請者募集のご案内

拝啓 時下益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、誠に有難うございます。

さて当基金は、大学・研究機関に所属してエレクトロニクスおよび情報処理系の研究に携わる若手研究者に対し研究費を助成することを事業内容とし、CQ出版株式会社を委託者として平成6年に発足いたしました。

本年度も、同封の募集要項に基づき募集を行いますので、募集要項記載の助成対象研究分野に関わる貴学・機関内の研究組織にご周知賜りますとともに、募集案内ポスターを貴学・機関内にご掲示賜り、研究者の方々にご案内下さいますようお願い申し上げます。

お手数をおかけいたしますが、何卒よろしくようお願い申し上げます。

敬 具

(同封内容)

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1. 小澤・吉川記念エレクトロニクス研究助成基金募集要項 | 2 通 |
| 2. 研究助成申請書 | 2 通 |
| 3. 募集案内ポスター | 1 枚 |

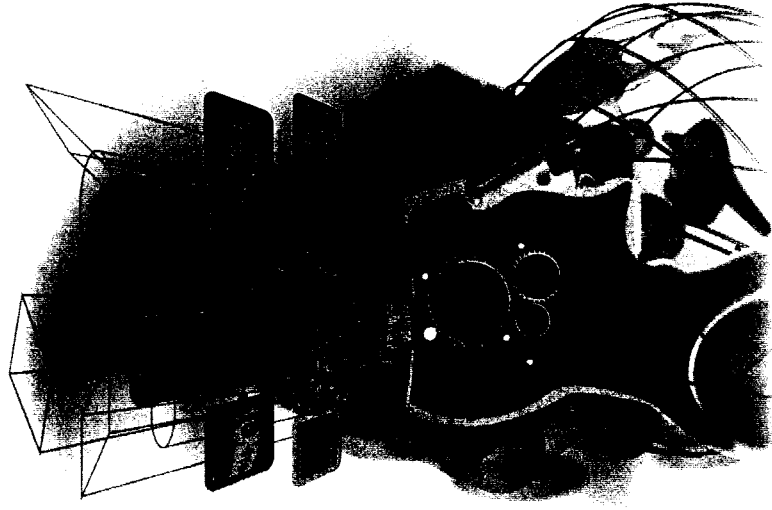
以 上

※ なお、上記書類のうち「2. 研究助成申請書」はEメールにて送信することも出来ます。
ご希望の方はアドレスおよび住所・連絡先・当基金の申請書請求の旨をご記入のうえ
FAXにて下記事務局へご請求ください。

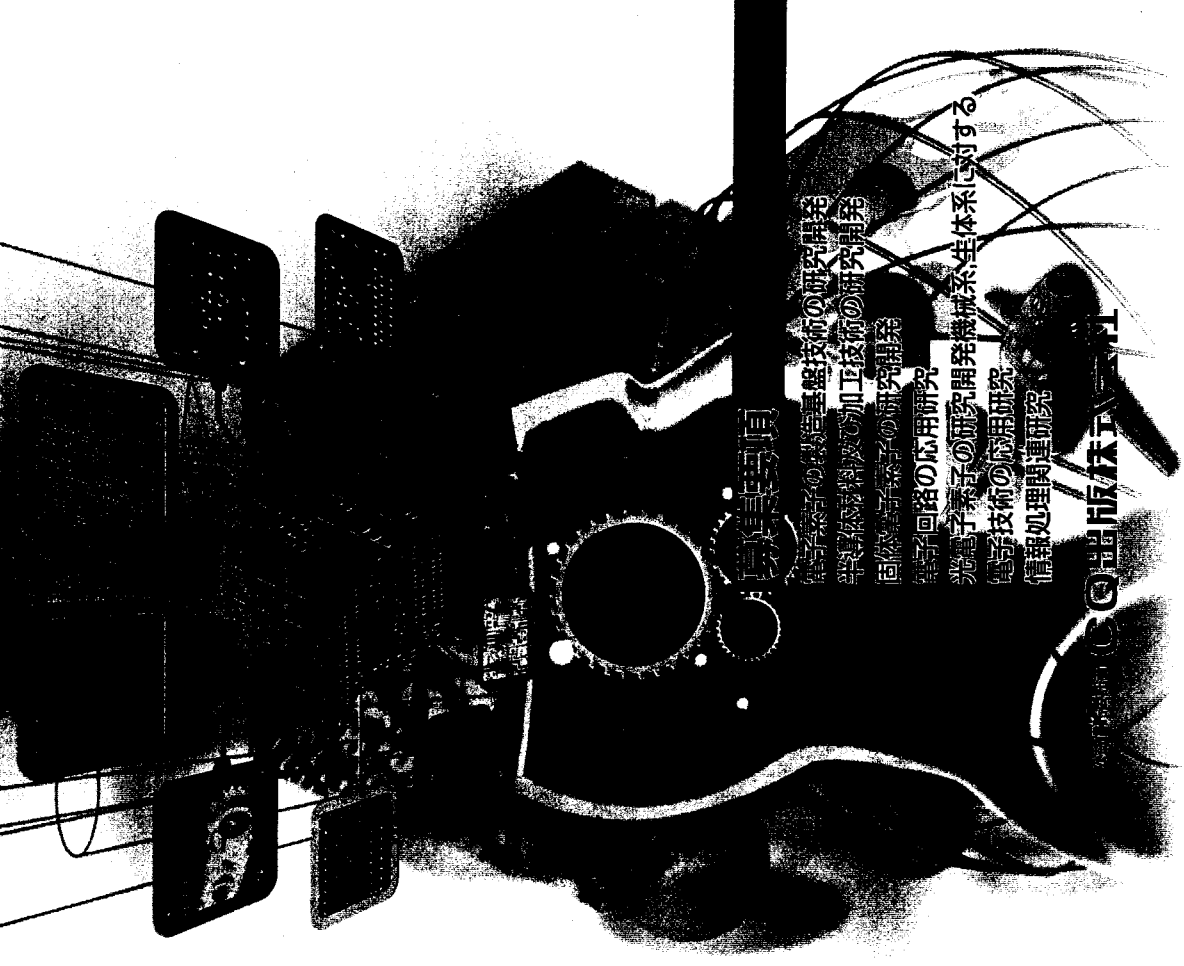
<公益信託 小澤・吉川記念エレクトロニクス研究助成基金事務局>
〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5
三菱UFJ信託銀行リール受託業務部
公益信託グループ 担当 山田
TEL(03)3212-1211 内線 3373
FAX(03)6214-6253

公益信託 小澤・吉川記念

工外電子機械基金



CQ出版株式会社



要目

- 電子素子の超小型化技術の研究開発
- 半導体材料及加工技術の研究開発
- 固体電子素子の研究開発
- 電子回路の応用研究
- 光子素子の研究開発機械系全体系に対する
- 電子技術の応用研究
- 情報処理関連研究

CQ出版株式会社

日本が今後進むべき道は、道義の再建と共に科学技術の振興を中心としなければならぬ。と、もはや明確になっている。米欧、アジア各国が懸命の努力をしながら、資源、その他の点で条件の悪い日本は従来以上に独創的な研究開発に力を入れていかなければならぬ。

日本の社会は米国に比べて均質を好み、個人の独創性をあまり高く評価しないと書かれているが、私はこの小澤、吉川記念エレクトロニクス研究助成基金が半導体や電子デバイス分野の若い研究者による、独創的な萌芽的研究テーマを育て上げるために貢献することを、運営委員として大きな期待を持たせていただいている。

エレクトロニクス委員会
委員長 小澤 一

この公益信託は、信託趣定の趣旨に基づいて、大学・研究機関に所属してエレクトロニクスおよび情報処理等の研究に携わっている若手研究者に対し、研究費を助成することによって、我が国の学術研究の発展に寄与することを目的とします。

国立・公立・私立大学、研究機関（民間企業の研究機関を除く）に所属して、エレクトロニクスおよび情報処理等の研究を行う若手研究者（原則として申請時に35歳まで）とします。

助成金交付の対象となる研究テーマは、下記のような研究項目が含まれます。

- 電子素子の製造・整技術の研究開発
- 半導体材料及び加工技術の研究開発
- 固体電子素子の研究開発
- 電子回路の応用研究
- 光電子素子の研究開発
- 機械系、生体系に対する電子技術の応用研究
- 情報処理関連研究

（その他のテーマも交付の対象となります）

◆助成金の額と支給対象者数
1件あたり300万円以下で、運営委員会が必要と認めた額、年間2件までとします。

◆募集方法

電子工学部門を有する大学、研究機関、学会誌等を通じて毎年9月に公募し、11月末に締め切ります。

◆書類の提出

助成金の給付を希望する方は、所定の研究助成金交付申請書に記入し、所属機関長の確認を受けて事務局までお送りください。

◆交付基準と支給日

提出された申請書を運営委員会で審議、選考して助成金の金額を決定し、3月中旬に交付します（運営委員会については右ページを参照）。

◆助成金の使途

助成金の使途については、別紙（交付申請書）をご覧ください。なお、金額の2分の1以上を人件費、旅費に当てないものとします。

◆成果の報告

助成対象期間（4月から1年間）終了後、3カ月以内に研究報告書を運営委員長に提出してください。また、助成金の使途についても併せてご報告ください。その研究が終了していない場合は中間報告とします。なお、委員長が認める他の機関への研究報告をもってこれに代えることができます。この場合は、その論文中に当助成基金による研究であることを記載してください。

信託について

本基金に運営委員会を設置し、5～8名の運営委員を委嘱します。委員の任期は2年で、助成基金の適正な運営を図るため意見を述べ、助成、助言を行います。また、運営委員長は、原則として毎年2月に運営委員会を召集します。

委員長 西澤 清一 首都大学東京 学長
委員 岡田 昭夫 青山学院大学 名誉教授
委員 高橋 清 東京工業大学 名誉教授
委員 関川 敏弘 産業技術総合研究所

エレクトロニクス研究部門 産総研
招聘研究員

委員 傳田 精一 長野県工科大学 客員教授

基金事務局を下記に置きます。

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5
三菱UFJ信託銀行 リテール受託業務部 公益信託グループ
「公益信託 小澤・吉川記念エレクトロニクス」

研究助成基金 事務局

TEL: 03-3212-1211

FAX: 03-6214-6253

■公益信託について

公益信託は、民間の委託者の財産を公益のために信託し、その管理、運用および日増の運営等の公益目的を行うことを委託者に委ねる制度です。

当公益信託の場合は下記のとおりです。

委託者：CQ出版株式会社

受託者：三菱UFJ信託銀行株式会社

委託財産：2億円（当初信託財産）

信託管理人：松村武志（税理士）

許可日（文部省）平成6年5月12日

■CQ出版株式会社の概要

設立：昭和29年5月13日

資本金：4,988万円

事業内容：無線・エレクトロニクス、コンピュータ

関係の雑誌：衛星、書籍出版部

代表取締役社長：清生 良治

専務顧問：小澤俊昭（創立時取締役社長）

エレクトロニクス新時代を担う 技術の萌芽を育む

